

どっくんの ズエチック time

恋愛小説は不滅!

最近はまだ、ときめき過多で心臓が過労死しそう。というわけで、ここ最近ボクが読んで「尊い…」って感じた2025年受入れのラノベを紹介するよ!!



『かりそめ聖女は今日も王太子 (押し)に求婚される』

夕鷺 かのう/著
KADOKAWA

鉄壁の無表情と無感動の下にとびぬけた妄想力を隠した巫女見習いのアリアセラ。一度も会ったことのない推しのジークフリード王太子をネタに大神殿でひっそりと執筆活動、頒布を行い「ジークフリードもの」と呼ばれる一大分野を築きあげた神殿内限定の秘密の娯楽『薄い聖典』の書き手のひとりだ。そんな日々を送るアリアセラの前になんと本物のジークフリードがご降臨! アリアセラの持つ神聖力を頼りに契約結婚の申込みに来たというのだが…。



『青龍の瞳の花嫁』

石田 リンネ/著
KADOKAWA

瑠璃は未来を夢に見る。祖国が減る未来を…。采青国の皇女・瑠璃には皇帝である父さえ知らぬ秘密があった。それは国を守護する偉大な神獣・青龍の力を生まれ持っていること。ある時から後継者争いの末に国が減る未来を夢で見るようになった瑠璃は国と自分を救うため、ある人生設計をたてる。ターゲットは最近叔父の『訳ありの息子』となり皇族入りした蒼天。瑠璃の人生設計と蒼天の人生設計がぶつかり合う中、城には不穏な影が…。同著『茉莉花 官史伝』の舞台、白楼国のお隣の国の物語。



『雨の巫女は 龍王の初恋に舞う』

和泉 利依/著
KADOKAWA

龍の血を継ぐといわれる若き皇帝龍宗と、神族と呼ばれる古の血を継ぐ雨の巫女璃鈴が心を通わせ夫婦となるまでの物語。皇帝即位の祝いとして前で特別な舞を舞う雨の巫女達。その中の一、一番若い雨の巫女に目が奪われた龍宗。その感情の名はずばり初恋! 初恋の人を前に素直に感情を伝えられない龍宗と、恋を知らない璃鈴のじれじれな展開と皇后暗殺の陰謀も絡みハラハラドキドキ。ぜひこの2人を生暖かい眼で見守ってください。



編集後記 ティーンズレター第62号はいかがでしたか? 次回は夏頃にお会いしましょう!



今回の「これを読め♥」はいかがでしたか? 今年も皆さんにより本との出会いがありますように!

(コロ)



どこからともなく流れでる鼻水に、ああ今年も春なのね、そうなのね、とつぶやきながら鼻を拭きます。

(おもち)



今週は暖かいなと思っていたら、翌週には肌寒くなる三寒四温の季節がやってきました。服はあるのに着るものがないという矛盾を抱えながら、今日もクローゼットの前に悩んでいます。(メル)

2026年3月発行

Teens Letter

習志野市立中央図書館
習志野市本大久保 3-8-19
TEL:047-475-3213
ホームページ



<https://www.narashino-lib.jp>

ティーンズレター
VOL.62



2026年もヨロシク!

TEENS CORNER BOOK NAVI

これを読め♡

3月恒例「これを読め♡」
2025年にティーンズコーナーに
仲間入した本の中から担当者
イチオシの本をご紹介します！

『下積み図鑑 すごい人は無名のとき何をしていたのか？』

真山 知幸／著 伊達 努／イラスト 笠間書院

ムーミンの生みの親「トーベ・ヤンソン」や、ゲゲゲの鬼太郎の生みの親「水木しげる」、「徹子の部屋」でギネス記録を更新した「黒柳徹子」など29名の十人十色の様々な下積み時代が紹介されています。有名な人物にも下積み時代があったことが分かり、自分も頑張ろうと思える一冊です。



『自己決定の落とし穴』 石田 光規／著 筑摩書房

自分のことは自分で決める。誰かから押さえつけられることなく選択・決定できることは自由で魅力的に感じる一方で、そこには責任が付きまとい息苦しさを覚えることも。また、自己決定を尊重するこの時代に、相手が決めたことにはどこまで踏み込んでよいものなのか。“自己決定”を読み解きます。



『ことば選び図鑑』 学研辞典編集部／編 Gakken

気づけば自分の感情を表す言葉が「うまっ!」「すごっ!」「やばっ!」この三拍子しか出て来なくなったと言っても過言ではない…。そんな人は私だけではない…はず…。そんな自分の気持ちを表す“ことば”の幅を広げてくれるお助けブック!幅が広がることで今の自分の感情により近い言葉で表現することができ、相手にもより明確に伝えることができますよ。



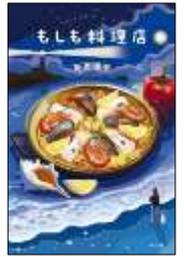
『これネコそれネコ?』 沖 昌之／著 インプレス

のんびりしているネコ、じゃれ合っているネコ、隙間に入り込んだネコ、ケンカ中のネコ…。かわいいだけじゃない、思わず笑ってしまうようなネコ達の姿が収められています。のびのびと生きるネコたちの一瞬を切り取った写真の数々で癒されることまちがいなし!ぜひお気に入りのネコを見つけてくださいね。



『もしも料理店』 田丸 雅智／著 小学館

“もしも料理店”にはメニューがありません。お客様との会話でその人にぴったりの食材を使い、シェフおすすめの料理をご提供。その食材はどれも目を疑うようなものばかりで…。ほら、今日も心のもやもやを抱えたお客様のご来店です。シェフの料理を食べれば不思議と前を向く力が湧く、ショートショート11編。



『記憶の鍵盤』 緒乃 ワサビ／著 新潮社

「私には未来の記憶があるの。」そう言って歩人の前に現れた少女・沙里。唐突な出会いに困惑する歩人であったが、自身の失った過去の記憶と向き合うべく長野に向かう。彼女は歩人の友人であるアンジーや絵莉とも親交があるようだった。彼女との出会いで止まっていた過去が動き始める。



『ここから出して』

菊地 秀行・恒川 光太郎・乙一／著 朝宮 運河／編 汐文社

「キミが開く恐怖の扉ホラー傑作コレクション」第3弾。テーマは“閉ざされた場所”。読み進むにつれじわりじわりと恐怖があなたを襲います。豪華執筆陣による第1弾“学校怪談”がテーマの『教室の怖い噂』、“幽霊”がテーマの第2弾『死者たちの声』、第4弾都市伝説や噂が引き起こす恐怖を扱った『血ぬられた都市伝説』もあわせてどうぞ。



『そんなときは書店にどうぞ』 瀬尾 まいこ／著 水鈴社

デビュー作『卵の緒』が誕生したきっかけや新米作家時代のお話、2019年『そして、バトンは渡された』で本屋大賞を受賞した当時のこと、映画化された『夜明けのすべて』の裏話などがユーモラスたっぷりに語られているエッセイ集です。巻末には『幸福な食卓』の6年後を描いた短編小説も収録されているので要チェック!



『満月珈琲店の星占い 心が整う12星座のスイーツ』

望月 麻衣／文 桜田 千尋／絵 ポプラ社

同著者の作品『満月珈琲店の星読み』シリーズでおなじみの、満月の時に気まぐれに現れる「満月珈琲店」。そのマスターが12星座について、それぞれの星座をイメージしたスイーツを添えて紹介してくれます。

星占いと美しいイラスト、短編小説が詰まった贅沢な一冊です。
あなたの星座はどんなスイーツでしたか?

